

芸術体験講座



真の芸術文化のすばらしさを多くの児童・生徒たちへ

会 場 県内小中学校及び特別支援学校 20校

事業概要

この事業は、平成17年度から始まった事業で、県内の小学校、中学校、特別支援学校に、プロの芸術家や伝統文化の継承者等を派遣して、学校教育活動の中で様々な芸術文化を体験することで、芸術文化の楽しさや素晴らしさを知る機会の充実を図り、児童生徒の豊かな人間性と多様な個性を育むことを目的としている。

事業の内容

○実施機関

福岡県文化団体連合会（事務局）に「令和4年度芸術体験講座実行委員会」を設置。（実行委員会は平成25年から設置）

○芸術体験講座の実施時間等

- ・時間
1学校あたり90分（学校の授業単位2時間相当）
- ・会場
学校施設（体育館、講堂、多目的ホール等）

○事業実施の留意点

- ・講座実施希望校調査の実施と実施校選定
- ・実施決定校の実施講座による成果の確認
- ・芸術団体と学校間の講座内容の確認
- ・講座実施当日の連絡調整と事業実施（結果）報告書の提出

新型コロナウイルス感染防止に対応した講座

○新型コロナウイルス感染症が完全に終息しない中で、学校、芸術団体とともに、各講座の開設に至るまで連携を密にして、安心して実施できる環境を整え、文部科学省のガイドラインのほかに、各地区教育委員会の学校行事に関する留意事項や芸術体験講座実行委員会で作成した「新型コロナウイルス感染防止に配慮した講座の実施について（10項目にわたる注意点）」に沿って開催すること。

○講座内容で、芸術文化を体験することが無理であれば、芸術団体・学校・事務局で連携して、内容を一部変更して実施してもよい。

○講座開催当日であっても、学校、芸術団体に開催が困難と思われる事態が生じた場合は中止とする。
以上のことと確認して実施した。

成果と課題

○成果

- ・学校からの報告書や児童生徒の感想文に、コロナ禍で、各種学校行事が小規模ではあるが、徐々に開催されている中、今回児童・生徒達が芸術体験活動を通して芸術の素晴らしさ、楽しさ、面白さ等を学んだことが書かれていることから、感動を与え、芸術に対して興味や関心が高まつたと思われる。
- ・体験活動の中で、日常生徒が学校内で取

り組んでいる活動とは一味違う芸術団体と一緒に活動することで充実した講座となつた。

・小規模・少人数の学校では、学校独自で民間の芸術団体等を招聘することは、予算的にも厳しく、次年度も芸術体験講座を希望したいなど、本講座の開催を喜ばれた。

・昨年、荒天のため中止せざるを得なかつた離島（小呂島）での講座が、晴天に恵まれ開催することが出来た。

・感染予防対策として急遽講座内容時間の変更を求められたが、臨機応変に芸術団体には対応して頂いた。

○課題

- ・事前打ち合わせ会の日程が、学校や芸術団体の行事と重なり欠席者が多かった。その場合、両者が直接打ち合わせることになるが、開催の趣旨や留意点、事務処理等を伝え事業を円滑に進めるためには、打ち合わせ会への出席が重要であり、日程調整に注意する必要がある。

- ・学校側が要望した内容が講座に十分反映されるように、芸術団体は、時間配分などを考慮して実施することが望まれる。

- ・実行委員の挨拶なしに講座を始める学校が見受けられたので、学校の担当者と実行委員会の連携を密にする必要がある。



廣吉里歌子・廣沢薰



Office トゥルース



和楽団ジャパンマーベラス



シン・ダンシング・ブリーズ

実施校数	
1 平成17年度	34校
2 平成18年度	32校
3 平成19年度	26校
4 平成20年度	30校
5 平成21年度	31校
6 平成22年度	27校
7 平成23年度	28校
8 平成24年度	30校
9 平成25年度	30校
10 平成26年度	29校
11 平成27年度	30校
12 平成28年度	30校
13 平成29年度	20校
14 平成30年度	20校
15 令和元年度	20校
16 令和2年度	17校 <small>*3校中止</small>
17 令和3年度	19校 <small>*1校中止</small>
18 令和4年度	20校

合計 473校

第30回ふくおか県民文化祭2022「芸術体験講座」実施校一覧

市町村名	学校名	対象学年	受講人数	芸術団体名	講座名
福岡市	小呂小・中	全	10	廣吉里歌子・廣沢薰	音楽
	福岡きぼう中	全	13	Officeトゥルース	総合芸術
	三宅小	6	134	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
	長尾小	4	124	シン・ダンシング・ブリーズ	ダンス
	当仁小	4	83	和楽ユニット風絃	伝統芸能
	片江小	6	88	福岡大蔵会	伝統芸能
	日佐小	1~6	20	ワールド・プレスフラワー協会福岡県支部	総合芸術
久留米市	水縄小	全	178	和楽団ジャパンマーベラス	伝統芸能
	水分小	全	98	ミュージック コンソート	音楽
飯塚市	大分小	4	26	劇団さんぽ	演劇
	飯塚東小	1~6	22	SION	音楽
行橋市	蓑島小	全	57	ふれあいコンサート実行委員会	音楽
春日市	春日南小	6	175	福岡大蔵会	伝統芸能
大野城市	平野小	1~6	130	福岡ホルンアンサンブル	音楽
みやま市	開小	全	57	福岡ホルンアンサンブル	音楽
須恵町	須恵第二小	6	139	福岡市能楽協議会	伝統芸能
岡垣町	戸切小	全	72	九州打楽器合奏団	音楽
苅田町	苅田中	1	167	子どもに能楽を勧める会	伝統芸能
築上町	西角田小	全	19	結実企画	演劇
県立	小倉聴覚特別支援	5・6	9	山崎笠山・宮本直美	伝統芸能

総受講生1,621名(内訳:小学校1,430名 中学校182名 特別支援学校9名)
派遣者113名(内訳:参加団体87名 実行委員26名)

合計 1,734名

学校からの 感想(抜粋)

○社会科や国語科で学んだ日本の伝統芸能「狂言」について体験的に学ぶことが出来る貴重な経験でした。多くの活動を取り入れて頂き、楽しみながら日本の伝統芸能に親しむことが出来ました。国語科の学習で事前にCDや動画で内容は学習していたのですが、目の前で演じられる「柿山伏」の迫力に児童は魅了され、狂言の良さや素晴らしさを沢山見つけることが出来ました。福岡大蔵会の皆様が狂言についての解説、また、体験活動では児童に適宜励ましや称賛の声をかけて頂き児童の笑顔が沢山みられる時間となりました。ここ数年はコロナ禍で体験学習が制限されている状況だったので、子どもたちにとって思い出に残る学習となりました。日本の伝統文化について体験的に理解を深めることが出来ました。

(春日市立春日南小学校 教諭)

○どこかで耳にしたことのある曲や、音楽の教科書に載っている曲など、子どもたちに馴染みのある曲を中心に選曲いただき、最後まで楽しく聴くことが出来ました。ホルンの歴史や特徴を紹介する中で音を順々に重ねる演奏をして頂いたことで、4オクターブ出るホルンの良さが良く伝わりました。珍しい木製のアルブホルンを実際に演奏する体験活動は、音が出るまで挑戦させてください、音が出た瞬間の子どもたちは嬉しそうでした。最後に校歌を演奏して頂いたことは、本年度閉校を迎える子どもたちにとって思い出に残る体験になったようで、とても喜んでいました。

(みやま市立開小学校 教諭)

○プロの声楽家・ピアニストの歌と演奏を間近で見る機会が極めて少ない学校なので、貴重な体験をさせて頂きました。本校の特殊な事情も加味して頂きながら、活動を計画して頂き、子どもたちも楽しく学ぶことが出来ました。発声の仕方や歌う事のコツなどを教えて頂いた内容は、学習後に実施した文化祭の子どもたちの合唱に活かすことが出来ました。

コンサートでは、力強い演奏と引き込まれる歌声に魅了されました。子どもたちにとって馴染み深い曲から、普段耳にしない異国の曲まで幅広い歌を披露して頂きました。また、様々な言語の歌も披露して頂き、それぞれの国の言語の美しさを味わう事が出来ました。

(福岡市立小呂小中学校 教諭)

○生徒がどんどん引き込まれていくのが分かり、とても良かったです。いつも物静かな生徒も話をしっかりと聞いて積極的に参加し、笑顔が見られました。講師の先生の語りと演技力で楽しい時間になったと思います。体験が終わってからも練習する姿やマジックについて話す生徒の姿が見られ、来ていただけて良かったです。個人的には初めて種明かしを見て、ぜひ練習してやりたいと思いました。時間的に夜で、少人数だったために、いろいろとご配慮いただいたことだと思います。

(福岡市立福岡きぼう中学校 教諭)

○とても迫力のある演奏で感動しました。日本だけでなく海外公演もされているようで、一流の演奏に触ることが出来て良かったです。本校は、5、6年生が和太鼓の演奏を運動会などで披露していますので、本物の演奏に触れ、意欲付けになったようです。和太鼓の体験コーナーが、とても楽しく、子どもたちが笑顔いっぱいでした。「鬼滅の刃」「大きなのっぽの古時計」など、子どもが知っている曲が聞けたのも良かったです。

(久留米市立水縄小学校 教諭)

○合奏団の皆さんによるマリンバの合奏は、子どもたちの心を驚かせにし、どの子もその音色に酔いしれしていました。楽しくご指導して下さり子どもたちの集中力が上がったようです。自分が奏でる一つの音が皆の音と重なり、こんなに美しい曲になるんだと言う事を体験し感想にはその喜びが溢れています。準備は大変でしたが掛け替えのない経験となりました。

(岡垣町立戸切小学校 教諭)

○担任の想像していた以上に子どもたちは喜び、とても有意義で実りのある体験となりました。この様な機会を与えて頂き本当に感謝しています。「本物」に触れる大切さがより一層分かりました。体験活動の後も、余った草花を使って押し花シールを作ったり、お家の人に作ってあげる姿も見られました。自分の作品にも満足しつつ、友達の作品の良さに気付いて褒めあう姿に担任として嬉しくなりました。

(福岡市立日佐小学校 教諭)

○実際に目の前で学習した内容の、和楽器の演奏の様子を観たり、演奏者の方からいろいろな和楽器の歴史や造りなどについて詳しく教えてもらい、子どもたちも大喜びでした。また、三味線、箏、鳴り物の体験を一人ひとりにさせて頂き、なかなかできない貴重な体験が出来て、有意義な学びの時間となりました。コロナ禍の中で色々な制限がある中でも実施することが出来て良かったです。

(福岡市立當仁小学校 教諭)

子ども達からの 感想(抜粋)

○昔から続く、日本独自の伝統芸能が好きなのですが、間近で見たことは初めてでとても面白かったです。これを機会に舞台を観に行ってみたいと思います。

○狂言に使う扇にはいろいろな模様があって面白かったです。着物の柄にも興味がありすぎかったです。

○始めて狂言を見てとても面白く、学校の授業で聞いた時よりもその気持ちが強かったです。

(福岡市立片江小学校)

○音楽の授業で初めて「能」を知ったときはまさか本物を見られるなんて思わなかったのですごく楽しかったです。体験活動で太鼓をたたいている生徒を見て、叩くだけではなくコソがあるのだなと思いました。最後の演技を生で見るのは初めてで、動画を見るのとは迫力が桁違いでした。あんなにきれいな声が揃うのも、プロだなあと感じました。

(苅田町立苅田中学校)

○尺八は竹でできていて、音は落ち着いた深みのある音でした。箏は桐の木でできていて、美しい音でした。私は箏の音色が好きでした。箏は、竜を表していると聞いてびっくりしました。詳しく教えてもらって興味がわいてとても楽しく体験することが出来ました。印象に残ったことは天空の城ラピュタの「君をのせて」や「春の海」の演奏です。鳥肌が止まりませんでした。本当に耳が幸せでした。

(県立小倉聴覚特別支援学校)

○ダンス体験で先生に「やってみよう」と言う、勇気や励ましのある曲をダンスで踊ってみました。最初は覚えることが出来るかなと思っていたけど先生のわかりやすい教え方で簡単に覚えることが出来ました。練習の時に、ダンスが成功した時にはダンスの先生が笑顔で踊ってくれ、失敗した時にも大丈夫という顔で励ましてくれました。ダンスがとても好きになり、こんなにもダンスは素晴らしいのだと思いました。本当に感謝しています。

(福岡市立長尾小学校)

○本気のマジックを初めて目の前で見ました。凄く見入ってしまいました。人を感動させるって難しいですが、とても素晴らしいことです。エンターテイメントとは?を考えさせる授業でした。一つ一つ驚きばかりで時間が過ぎるのも早かったです。毎日の忙しさの中に一時の心の余裕を持て、たまには必要なことだと思います。

(福岡市立福岡きぼう中学校)

○芸術体験講座では、ゲームで自分の気持ちや思ったことを尊重させること、それに自信を持つことを学びました。特に「間違ってもいいから自信をもって」という言葉が残っています。ゲームを通して自信を持つ大切さがわかりました。とてもいい経験だったと思います。

(飯塚市立大分小学校)

○弾いてくださった曲が知っている曲もあれば、知らない曲もあったので、新しい曲を知れて良かったです。みんなすごく上手ですごかったです。自分もピアノを習っているので上手になりました。音楽ってこんなに人の心を動かせるものなんだなあと思いました。

(久留米市立水分小学校)

芸術体験講座をしていただいた芸術団体/個人の皆様



和楽ユニット風絃



ワールド・プレスフラワー協会福岡県支部



ミュージック コンソート



劇団さんぽ



SION



福岡ホルンアンサンブル



福岡市能楽協議会



九州打楽器合奏団



子どもに能楽を勧める会



結実企画



山崎笙山・宮本直美

芸術体験講座(事業のご案内)

*福岡県下の小学校・中学校・特別支援学校に「(登録)芸術団体・個人」を派遣します。

*派遣できる(登録)芸術団体・個人の皆様は、「伝統芸能(能、琴、尺八など)」、「音楽(ピアノ、ヴァイオリン、ホルンなど)」、「ダンス」など。学校が講座を選べます。

*細かなお手伝いは、(芸術体験講座実行委員会)が行います。

*実施に要する報酬(謝金)、交通費(旅費)は、福岡県文化団体連合会が負担します。